

やまぐち子育て福祉総合センター実績報告

専門研修「子どもを感染症から守ろう」～登園の感染症 10 年戦争！！～

日 時・・・11月17日（木）14:00～15:40

場 所・・・山口市立山口保育園 2階遊戯室

講 師・・・社会福祉法人光善会理事長・大内すこやか保育園 野瀬橘子先生

参加人数・・・70名

内容・・・

◆野瀬橘子先生による講義

I. 感染症戦場の季節は？（ウイルス感染症について）

- ・手足口病 4～9月に多い。
- ・溶連菌感染症 1年中あるが、咽頭症状は12月～3月に、皮膚症状は7月～9月に多い傾向。
- ・水痘 冬から春にかけて流行しやすい。
- ・風疹 春から初冬にかけて多いが、冬にも発生があり、次第に季節性がなくなりつつある。
- ・流行性耳下腺炎 初冬にかけて多かったが、現在では季節性はない。

(2013 保育保健における感染症の手引きより)

II. 感染症の戦争期間は？（大内すこやか保育園の過去データで説明）

- ・何度かの集団感染があったが、他のクラスにそれほど広がらずにすんでいる。
- ・流行性耳下腺炎は、大人でかかると重症化しやすく合併症等の恐れもあるので、小さいうちにかかっておくほうがよい。予防接種の料金高めだが受けておくほうがよい。

III. 感染症の感染しやすい期間★ 登園のめやす☆ <一部抜粋>

1. 医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が望ましい感染症

(必ず保育所での集団生活に適應できる状態に回復していること)

○溶連菌感染症 ★発症1日目から発しん出現後の4日まで

☆抗菌薬内服後24～48時間経過していること

○マイコプラズマ肺炎 ★適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間

☆発熱や激しい咳が治まっていること

○手足口病 ★手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間

☆発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること

○ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）

★症状のある間と、症状消失後1週間

(量は減少していくが数日間ウイルスを排泄しているので注意が必要)

☆嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること

○RSウイルス感染症 ★呼吸器症状のある間

☆呼吸器症状は消失し、全身状態が良いこと

2. 医師が記入した意見書が望ましい感染症 <一部抜粋>

(必ず保育園での集団生活ができる状態に回復していること)

○麻疹 (はしか) ★発症 1 日前から発疹出現後の 4 日後まで
☆解熱後 3 日を経過してから

○インフルエンザ ★症状がある期間
(発症前 24 時間から解熱後 3 日程度までが最も感染力が強い)
☆発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 2 日を経過するまで
(乳幼児にあつては、3 日を経過するまで)

○風しん ★発しん出現の前 7 日から後 7 日間くらい
☆発しんが消失してから

○水痘 ★発しん出現 1～2 日前から痂皮形成まで
☆すべての発しんが痂皮化してから

○流行性耳下腺炎 ★発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日
☆耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹は発現してから 5 日を経過するまで、かつ
全身状態が良好になるまで

○結核 ☆医師により感染の恐れがないと認めるまで

○咽頭結膜炎 (プール熱) ★発熱、充血等症状が出現した数日間
☆主な症状が消え 2 日経過してから

○流行性角結膜炎 ★充血、目やに等症状が出現した数日間
☆感染力は非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから

IV. 登園のめやすについて

1. ウイルス感染症の場合

- ・症状が治まるまで発症して 5～7 日はかかる
(特に「インフル」「麻疹」「おたふく (流行性耳下腺炎)」等は症状の変化や合併症が怖いので要注意)
- ※人に感染させる期間はアバウトではいけない。
- ※食事・睡眠・機嫌は大丈夫か確認すること。
- ※0・1 歳の鼻づまりは突然死のケースがあるので注意
- ※いつから症状が出たかが大事

2. 細菌感染症の場合

- ・症状が多彩で治りにくい。
- ・体力、抵抗力、看護、治療等の個人差があるため、登園できる状態の把握が難しい。
- ※医師に感染の恐れがないことを確認し、登園することが原則。
- ※全ての症状が消失した状態を治癒と考える。
- ※体力回復に時間がかかる。
- ※汚染された部屋は消毒や除菌が難しい。

V. 汚染された保育室の対応は？

1. ウイルス感染症の場合

- ・エアコンフィルターは要注意。ウイルス付着しやすい。
- ・窓を開けて風を通す。(ウイルスを希釈する)
- ・汚物処理の消毒・殺菌方法
 - ウイルスは熱に弱い。熱処理、焼却等。日光消毒も簡単で効果大。
 - 消毒・洗浄液は塩素。塩素で色落ちするもの(布・おもちゃ等)は熱湯をかける。

2. 細菌感染症の場合

- ・汚染された場所や物は速やかに消毒。アルコールがベスト
- ・部屋は乾燥させることが望ましい。
- ・部屋の掃除を徹底する。(ほこりやごみにウイルスつきやすい)
- ・職員はうがい手洗いの励行。爪は切る。(自らが保菌者にならないため)
- ・水回りの環境整備、蛇口、ドアノブ等清潔を保って蔓延を防ぐ。

3. シラミの場合

- ・掃除を徹底する。
- ・子どものロッカー(服の着脱をるところ)周辺にシラミ駆除剤を撒く。(1回散布で数日放置)
- ・シラミが見つかった場合、大内すこやか保育園での対処法の紹介

VI. 園児の感染症管理3原則

1. 今流行している病気に注意注目予測を！

(特に感染力が強い、潜伏期間が短い。症状が激しい、パンデミックとなる危険性あり)

2. 早期発見→早期隔離(子どもだけでなく職員も)→早期治療へ

それぞれの病気について、適切な対応を行う。

保護者の協力で病気の蔓延と病気の苦しみを早期に解放する。

3. 園では集団発生を防ぐことに努める。

①保育者はこまめに健康チェックできるスキルを身に付ける・・・職員間で連絡・報告・相談

②早期隔離

③病後児のケアが大切

感染させる危険あり(100%無菌ではない)

まだ集団生活に耐える体力の回復はしていない

④保育者(接触者)の健康チェックと管理

- ・過労に注意、食事・睡眠・不要の外出・衛生等に十分な注意をさせること。
- ・体調不良があれば子どもとの接触をさせてはいけない。
- ・部外者の園舎・園室への侵入を遮断する。(送迎に同伴する兄弟なども注意、マスクや消毒を)

VII. 大内すこやか保育園の感染症予防対策

1. 毎日園児の健康チェックをする
2. 今流行している感染症のサーベイランス（発生状況の情報等）に注意する。
3. 病後児の管理をすること
4. 保育士は健康管理を常に自ずから心がけること
5. 園内の施設・設備を常に清潔に整理整頓すること
6. 園児と職員の体調不良を早期発見→治療に努める

※大内すこやか保育園の健康チェック表・問診票を例に説明

- ・保護者が登園時に健康チェック表を提出する
→問題があれば問診票を作成
→主任・看護師・園長に報告

VIII. 予防接種と罹患率

- ・H22年度の大内すこやか保育園において、
予防接種をした子どもの流行性耳下腺炎・水痘の罹患率は、していない子どもの約1/2であった。
インフルエンザについては11月までに約95%の園児が予防接種を行い、A型流行には効果がみられ
感染は2名のみに終わった。ワクチン接種児の方が病気にかかった割合が少なく、ワクチン接種は有
効であったと思われる。
- ・予防接種のスケジュールについて

◆グループワーク（20分）

- ・5・6名×12グループで自己紹介を行い、感想、質問などを出し合う。

◆質疑応答

Q1：大内すこやか保育園で実践されている「健康チェック表」について

毎日行っているのか？全園児に行っているのか？

毎朝の負担について保護者の反応は？

用紙はいつ配布するのか？

A：全園児対象に10年前から毎日行っている。

用紙は前日に配布して記入したものを登園時に提出してもらう。

手間もかかることだが、お子さんを守るために大事なものであることを、保護者会や園だより等で説明してご理解をいただいた。

Q2：シラミの対処法について、具体的に知りたい。

A：他の園児への感染を防ぐ方法として、シラミを発見したら保護者の了解をもらい、頭髮（主に生え際）をスプレーで固めて、頭全体をラップで包む。ずれないように上から帽子をかぶせるとよい。
→家庭でシラミ用のシャンプーを使って洗髪する。ラッピングした上からのドライヤーも効果あり。

Q3：消毒・洗浄の方法について “塩素” のメーカー名は？

A：大内すこやか保育園では、値段も手頃なのでハイターを使っている。

処理の仕方①エアコン切る

②汚物の上に新聞紙をかぶせる

③子どもたちは部屋から出す

④新聞紙の上からしっかり塩素スプレーをかける、しばらく置く

⑤ナイロン袋に入れて処理する（使用した手袋も一緒に）